

悲願の小浜京都ルート実現へ総力を結集

北陸新幹線敦賀以西ルートの選定に向けた与党の議論が大詰めを迎える中、小浜京都ルートの年内決定を求める総決起大会が12月4日、福井市の福井県自治会館で開かれました。福井県北陸新幹線建設促進同盟会と、嶺南6市町の首長らでつくる北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会が主催。県内各市町の首長、議員、経済団体関係者らのほか、山崎正昭前参議院議長や与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの山本拓衆議院議員ら県選出国會議員、県内の政財界関係者や小浜市など嶺南の住民ら約420人が一堂に集い、40年以上にわたって訴えてきた県民の悲願達成へ気勢を上げました。



右／県外からも、小浜京都ルートの支持を表明している北陸経済連合会の久和進会長、関西経済連合会の辻卓史理事(リニア・北陸新幹線担当委員長)らが参加しました。

下／約420名の参加者によるガンパロー三唱で総決起大会を締めくくりました。



小浜京都ルートの年内決定 早期着工に向けて



西川 一誠 知事

敦賀以西のルートについては、現在、与党の検討委員会が沿線府県などから意見を聴取し議論を進めています。与党プロジェクトチームは、検討委員会からの報告を受け、年内にルートを決定する予定です。

国土交通省の調査結果により、小浜京都ルートは、移動時間が最も短く、運賃・料金が最も安いなど利便性に優れ、費用対効果も高い最適なルートであることが明らかになりました。これ以降、本日から来賓としてお見えの北陸経済連合会、関西経済連合会など沿線の皆さんから相次いで支持が表明されるなど、小浜京都

ルートへの理解が深まってきていると感じます。

ルートは、国土計画上、そして利用者の利便性の観点から、乗換えがなく、回り道、寄り道をせず、京都駅や新大阪駅へまっすぐに向かうものとするべきであり、整備新幹線が政治新幹線となつてはなりません。新幹線による経済効果を一日も早く発現させるためにも、合理的な小浜京都ルートを年内に決定し、早期に着工、完成、開業させる必要があります。

また、小浜京都ルートは昭和48年の整備計画に定められた唯一の正式なルートであり、何より40年以上の長きにわたり県を挙げて運動を展開してきた歴史の重みと県民の思いが詰まっています。

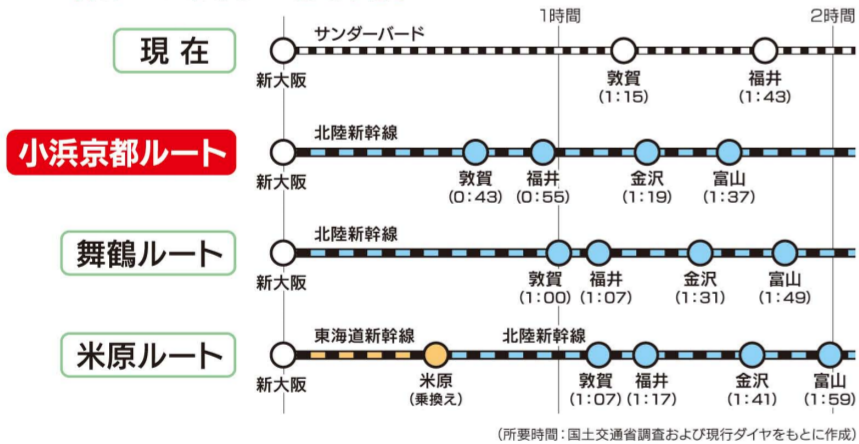
県同盟会や小浜・京都ルート建設促進同盟会の皆様と力を合わせ、県民の力を結集し、何としても小浜京都ルートの年内決定と大阪までの早期全線整備を勝ち取らなければなりません。皆様の一層のご理解とご支援をお願い致します。

小浜京都ルートの意義

- 昭和48年の整備計画に定められたルート
- 大規模災害時に東海道新幹線の代替機能を発揮
- 利用者の拡大が図られる

1 所要時間が大幅に短縮

〈北陸・大阪間の時間距離〉



北陸3県と大阪が概ね90分以内に

舞鶴ルートより12分短縮
米原ルートより22分短縮

2 運賃・料金が最も安い

〈福井-新大阪間の運賃・料金 (片道)〉

小浜京都ルート	6,460円
舞鶴ルート	8,420円
米原ルート	9,780円

舞鶴ルートより約2,000円
米原ルートより約3,000円
安い



※表記時間は、小浜京都ルートによる京都・新大阪までの所要時間